

光鮫会だより

第21号 [平成28年12月]
発行 | 光鮫会会長 岡本 賢 (S39)
本部長 | 井戸田 秀樹 (S58)
連絡担当者 | 夏目 欣昇 (H5)

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町 名古屋工業大学 社会工学科 建築・デザイン分野内
Mail | koukokai@archi.ace.nitech.ac.jp Tel | 052-735-7967 HP | <http://koukokai.jp/home>

1 | 卒業生は今

□本部

岩田 佳子 (H4) (株)大林組

平成4年に大学を卒業して大林組に入社、大阪本店と名古屋支店を行ったり来たりで24年が経過しました。入社以降ずっと構造設計部に所属し、生産施設、流通施設、商業施設等の鉄骨造建物を数多く担当してきましたが、その中で特に印象な物件が、一昨年前から担当しているレゴランドです。

レゴランドは、誰しも幼い頃に一度は遊んだであろう「レゴ」の屋外型テーマパークで、現在、名古屋市港区の金城ふ頭で2017年4月オープンに向けて施工中です。完成すれば、日本国内では初、世界8ヶ所目のレゴランドになります。私はこのレゴランド内の建物の構造設計・工事監理を担当してきました。敷地内の建物は小規模なものが多く、構造的に特に難しくはありませんが合計約50棟、それぞれ曲線が入った可愛らしい形状で、同じ建物は2つと無く、設計作業はなかなかの「力仕事」でした。優秀な設計スタッフと多くのサポートのおかげで、無事に設計図書をまとめることができた時は、文字通りの設計図書の「山」を見て、うれしさと同時に笑いがこみ上げてきたのを覚えています。

中村 真悟 (H26) 三輪 和弘 (H25) 清水建設(株)

大学院卒業から2年が経ち、現在は三重県津市の津市産業・スポーツセンター建設工事に携わっています。当現場は女子レスリングのメダリスト吉田沙保里選手が津市出身という由来で“サオリーナ”と呼ばれ、海外からも現場見学に来るほど世界的に注目されている現場です。

当現場は、メインアリーナ(収容人数約4000人)をはじめとした6つの棟の施工と、既設の改修工事を含んだ工事で、50mスパンをとばす箱型鉄骨ダブルトラス梁構造や日本最大級の光ダクトとETFE膜を使用した照明設備、テント膜屋根天井による自然光を取り入れたプール、建物全体が調整池機能を果たすなど、見どころの多い施設です。

私は入社初年からサオリーナに配属され、杭工事担当から始まり、鉄筋・鉄骨・仮設鳶担当を経験し、現在は内装工事担当をしております。平面図的に広い現場で、6つの棟の作業が並行して進むため、監理と日々の連絡調整が非常に難しく奮闘しております。

現在、レゴランドの建築工事はほぼ完了し、外構や装飾の工事が進んでいます。徐々にカラフルなレゴの世界が現れ、完成の近さを感じます。一方、その隣地ではレゴランドホテルが10月に着工しました。こちらは2018年春~夏に完成予定で、私の工事監理業務はまだ続きます。

「レゴランドに遊びに来る子どもたちの笑顔のために頑張りましょう」、これは着工時の施主の言葉ですが（もちろん英語で）、完成後の光景を思い描くと大変な仕事も乗り越えられます。レゴランドの歓声を聞きながら、ホテルの配筋検査ができる日を今から楽しみにしています。



レゴランドの工事現場の仮囲いに溶け込んでみました。

入社時の志望動機である“世界中に知られるようなビッグプロジェクトに関わりたい”という夢が早くも実現し、日々大きなやりがいを感じながら竣工を目指して力を尽くしていきたいと思います。



□関東支部

鈴木 智也 (H27) (株)竹中工務店

竹中の新入社員といえば、深江寮での寮生活。2015年に卒業後、初めての関西の地で、狭い8畳の相部屋から社会人生活をスタートさせました。1年で3回のジョブローテーションで見積・作業所・設計の仕事を経験し、寮生活では自主開催の寮祭や休日を利用した旅行など、日々の生活を通じて同期と交流を深めます。2年目から独り立ちするため、社会人の基盤形成やいつでも頼れる人的ネットワークの拡大が、会社から求められた新入社員の大きな仕事だったと思います。

本年度から東京本店の集合住宅チームに配属され、3つの住宅プロジェクトに携わっています。そのうち2件がリノベーションなど、入社時にはゼネコンとして想像していなかったような仕事にも関わり、時代性を感じています。今一番の仕事は、横浜における99戸の低層板状集合住宅プロジェクトです。前任者から引き継ぐ形で担当となりましたが、東京に配属された初日から見積図回し会議があり、1ヶ月後には着工を控えるなど、慌ただしい中で設計業務を行うこととなりました。現場が進む中での追加変更対応に留まらず、事業主との定例会運営など、

プロマネとしての役割も学んでいます。初期設計段階ではないため、期中での変更要望をフォローし、現場との細かい納まりの調整に追われていますが、日々勉強という思いで必死に図面を書いています。

時には多くの業務が重なることで苦労し悩むこともありますが、幸いにも同プロジェクトの設備設計に同期があり、互いに助け合って仕事を進めています。新入社員生活で育んだ土壌を支えに、これからもよりよい“作品”的な創出に尽力していきます。



(仮称) 上大岡東一丁目計画

□関西支部

山崎 航一 (H25) (株)鴻池組

大学院を修了して、(株)鴻池組に構造設計として入社してから2年目となりました。昨今の建設業の情勢もあり、1年目から小規模の物件の実施設計を担当させていただくなど、濃密な1年であったと思います。昨年に担当した物件は、小規模な工場を3件(平屋2件、3階建て1件)とRCのタワーマンションです。わからないことが多い、上司や現場担当の方など様々な方に教わりながら設計しております。

現在は、設計を担当した物件の工事監理を行いつつ、新たな工場の設計を行っております。どのような物件でも同じだと思いますが、同じ工場という用途でも全く別のものであり、建物によって設計の仕方も全く異なり、建築ならではの大変さ・面白さを感じながら、日々業務に励んでおります。

話は変わりますが、弊社の社長、設計本部長、さらには直近の上司が名工大の先輩ということもあります。昨年入社してから光鰐会関西支部の定例会・総会に毎回参加させていただいております。様々な企業・年代の方が参加しており、光鰐会のつながりの大きさを感じております。

今年度の関西支部総会では、京都府舞鶴市まで海上自衛隊の護衛艦の見学に行ってまいりました。しかし、総会での20代の参加者は私含め2名だけと若い年代の方が少なく、非常に寂しい思いをしました。東京勤務などが多いと思いますが、関西在住の方は、来年度はぜひ参加くださいますようお願いします。



H28 光鰐会関西支部総会（護衛艦見学の様子）

2 | 光鯢会は今

□秋の見学会の報告

上本 晃平 (H25) 愛知県

光鯢会本部の秋の見学会として名古屋工業会名古屋支部の見学研修会に参加しました。当日は朝名古屋栄をバスで出発し、①古今伝授の里フィールドミュージアムにて見学、②郡上八幡・ホテル積翠園にて昼食と入浴、③郡上八幡城下町にて散策④長良川鉄道乗車⑤関善光寺にて参拝、そして名古屋栄に帰るという1日のスケジュールでした。

まず訪れた古今伝授の里フィールドミュージアムは、鎌倉時代から戦国時代初めにかけてこの地を治め和歌に優れていた東氏や古今伝授にちなんだ和歌をテーマにした野外博物館です。施設は視覚的に楽しめる回廊式の展示場となっており和歌文学を楽しめ、また紅葉が始まっており秋の景観を楽しめました。

昼食に訪れたホテル積翠園は高台に位置しており郡上おどりで有名な城下町が見渡せ、積翠という名の通り緑の自然に囲まれた奥美濃の自然を堪能できました。

城下町では職人町・鍛冶屋町や吉田川沿いの石台の上に並ぶ川屋敷等街並みを楽しめました。

その後、関には長良川沿いを走る長良川鉄道を利用し、天気にも恵まれ自然豊かな風景を小一時間ほど感じながら移動しました。

最後に訪れた関善光寺では、亀山建設の光鯢会の先輩方の計らいで、住職様から円型戒壇や宝冠大日如来の説明を頂きました。また偶然にも亀山建設の同期に会え同窓会を楽しめました。

のんびりとした一日でありながらも職場以外の先輩方とお話をすることのできる貴重な機会であり、とても充実した一日となりました。



古今伝授の里フィールドミュージアム



善光寺大日如來の絵馬

□OB/OG交流会の報告

平林 聖尊 (H18) (株)竹中工務店

12月6日(金)16:20から、光鯢会本部の第11回OB・OG交流会が名古屋工業大学で開催されました。学部3、4年生、大学院生を対象に、OB・OGから就職にあたっての心構えや職場の様子などを聞き、今後の進路の参考にしてもらうことを目的として毎年開催されています。11回目の今回は80名を超える学生が参加しました。

第1部は先輩からのガイダンスとして、4名のOB・OGの方に仕事内容や勤務状況等について紹介していただきました。

葛西智崇さん (H25) (株)竹中工務店)

犬飼高嘉さん (H17) (株)伊藤建築設計事務所)

平野真理さん (H05) 大和ハウス工業(株))

小川裕也さん (H22) (株)LIXIL)

施工管理、建築設計、構造設計、プロダクトデザインの立場から分かりやすく説明していただき、学生たちもメモを取りながら真剣な眼差しで話に聞き入っていました。説明後は学生から多くの質疑があり、活発な質疑応答が行われました。

第2部は18:45から、生協1階食堂に場所を移し、懇親会を行いました。事前に配布した参加OB・OGのプロフィールを参考にしながら、お目当てのO

B・OGに話を聞きに回る学生の姿が多く見られ、大いに盛り上りました。今後も継続して開催ていきたいと思います。



□関東支部だより一ネットワークキャンパス in Tokyo と支部総会・懇親会の報告

鹿島 孝 (S59) 光鯨会関東支部長 / (株)竹中工務店



今年で3回目となる“ネットワークキャンパス in Tokyo”が開催されました。これは、名工大の学生さん達に東京で建築を学ぶ機会を提供するもので、岡本光鯨会会长をはじめとする6名の先輩方が発起人となって立ち上がった学外教育です。今年は9月8日~10日の3日間で、学部の3年生が9名参加して、座学や建設現場の見学を行い、最終日には3チームに分かれて設計演習と講評会が行われました。私は設計演習のプレゼンテーションと講評会に参加しました。学生さん達が「八重洲に名工大のサテライト・キャンパスを作る」というテーマに対して、いろいろなアイディアを出し合って図面や模型を作りプレゼンテーションする姿を見て、建築棟の製図室で徹夜で課題に取り組んだ自分の学生時代を懐かしく思い出しました。今年の講評会には名工大の鶴飼学長も参加され、おおいに盛り上りました。

関東支部はこれまでネットワークキャンパスの運営に関わってきましたが、来年からは対応組織を立ち上げ、バックアップしていきたいと思います。

□関西支部だより

宮本 和則 (S55) 光鯨会関西支部長 / (株)京都建築事務所

関西支部総会が10月8日（土）に舞鶴にて開催されました。久々に大型バス1台を仕立てのエクスカーションを兼ねた総会で、3連休の初日にもかかわらず29名の参加をいただきました。

舞鶴は旧軍港市として横須賀、呉、佐世保と共に日本遺産に指定されており、現在は海上自衛隊舞鶴地方隊及び第23航空隊の基地が置かれています。旧舞鶴鎮守府軍需部倉庫郡を再整備した赤レンガパークを中心に観光整備されており、午前中は赤レンガの展示場や博物館を観光し、その後地元ホテルを会場として総会・懇親会を開催しました。来賓として木越名古屋工業会大阪支部長にご挨拶戴き、工業会の活動について紹介戴きました。光鯨会本部からは井戸田本部長がご参加くださいり、母校及び光鯨会活動の近況をご報告いただきました。また例年通り、現役の大学院生お二人をご招待し、ご挨拶いただきました。

昼食懇親会後、海上自衛隊舞鶴総監部内にある海軍記念館を、広報部の担当自衛官のご案内で見学しました。この記念館は昭和8年に天皇の鎮守府視察にあたり、海軍機関学校講堂として建設された鉄骨レンガ造平家の建物を転用したものです。スクラッチ模様のレンガが美しい建物ですが、艦船の鋼材を利用して急速3ヶ月で建設されたとのことで、その短



ネットワークキャンパスに参加した学生さん達

さて、11月25日(金)、大手町サンケイプラザにて光鯨会関東支部の総会・懇親会を開催しました。支部長の大役を仰せつかって2年、無事に役目を終えることができ、ほっとしています。これも大学・本部・支部役員の方々のご協力のお陰と感謝いたします。来年からは現・副支部長の工藤さんにバトンタッチする予定です。よろしくお願ひします。

支部長 鹿島孝 (S59) 副支部長 鈴木孝彦 (S59)
副支部長 工藤利昭 (S61) 連絡担当者 宇佐美徹 (H3)
〒270-1393 千葉県印西市大塚 1-5-1
(株)竹中工務店 技術研究所 (080-6720-6270)

工期に驚きの声が上がりました。その後、海上自衛隊北吸桟橋を見学しました。イージス艦は改修中とのことで停泊していましたが、ヘリコプター発着護衛艦「ひゅうが」の大きさや、哨戒艇が磁気の影響を考慮して木造船であることに驚かされました。



関西支部としては来年度も2,4,6,8月の第1金曜日に中央電気俱楽部で定例幹事会を、10月頃には支部総会を開催する予定です。講演会等も含め有意義で楽しい企画を検討中ですので、多数の会員のご参加を期待しています。

支部長 宮本和則 (S55) 副支部長 藤澤繁男 (S53)
事務局長・連絡担当者 田邊太一 (S57)
〒541-0057 大阪府大阪市中央区北九宝寺町 3-6-1
(株)鴻池組 (06-6245-6315)